Vol. X, Pt. 1, 1959

蝶と蛾 Tyō to Ga

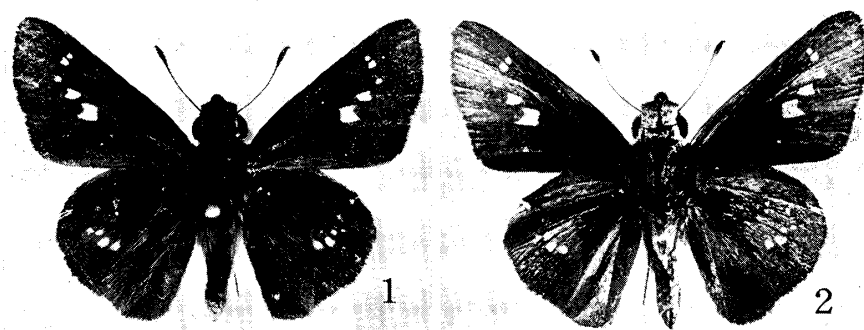
(Transactions of the Lepidopterological Society of Japan)

奄美大島より新たに発見されたセセリチョウ科の一種について

尾本恵市[1]

Discovery of *Parnara naso bada* MOORE at Amami-Oshima, Japan

By KEIICHI OMOTO

久保快哉氏[2]は1957年4月より約4ケ月間に亘り屋久島，奄美大島等に於て多数の蝶類を採集された．筆者は偶々同氏の採集品の一部を見る機会に恵まれたが，この中にチャバネセセリ，イチモンジセセリに混じて，我国からは確実な記録の無いセセリチョウ科の一種がある事に気付いたので，同氏の御好意を得て取敢えずここに報告したい．貴重な標本を快く貸与された久保氏に厚く御礼申し上げる次第である．

Figs. 1 & 2. *Parnara naso bada* MOORE, ♂. Nase, Amami-Oshima, Japan, 22. vii. 1957, collected by Mr. K. KUBO. (Fig. 1, upperside; fig.2, underside)

Parnara naso bada MOORE (1878) タイワンハナセセリ (Figs. 1, 2)

1♂, 22. vii. 1957, 奄美大島名瀬，久保快哉氏採集.

P. naso FABRICIUS (1793) はアフリカより東南アジアを経てオーストラリアに至る極めて広い分布を有する種で，アジアのものは全部亜種 *bada* MOORE に包括される．東南アジアでは至る所に普通で稲の害虫として知られ，台湾には多く，八重山諸島にも確実に産し，沖縄本島からも若干の記録が見られる．本種が琉球，台湾を除く日本から記録された事は実は皆無ではなく，EVANS (1949)[3] は British Museum 所蔵の"日本産"の1♀を記録している．この標本のラベルには詳しい産地が書かれていない模様で，EVANS 自身稍々懐疑的に "Japan" とのみ記している．恐らく戦前に採集されたであろうこの標本が果して現在の日本領土の内で得られたものか否か知る術もないが，この唯一の記録を除けば本種は現在の日本からは今のところ全く知られていないようなので

1) 東京都品川区五反田5-60　2) 東京都渋谷区美竹町10

3) A Catalogue of the Hesperiidae from Europe, Asia and Australia in the British Museum, p. 435.

今回の記録を以て最初の確実な記録としてもよいように思う.

参考迄に近似種イチモンジセセリとの差異を簡単に記せば下記の如くである.

雌雄同様，一般にイチモンジセセリより小型（前翅長♂：14～16 mm）

表面：前翅中室内の2白紋を欠く；後翅の白紋は遙かに小型，通常2～3個で一列に並ぶ事はない.（今回の奄美大島産の個体では4個の小白紋が認められるが，亜種 *bada* ではこのような変異は時折見られる.）

裏面：地色の黄土色は稍々淡色，後翅には第2,3,4,5室に円型の小白紋を有するが第4,5室のものは不明瞭で，往々にして消失する.

本種は我国では今迄あまり注目される事が無かったが，これは近似種のイチモンジセセリがあまりにも普通な種である為に見逃されて来た事にもよる．食草もイチモンジセセリ同様特殊なものではなく，飛翔力も強い本種が日本の南部諸島で採集される事は決して不思議な事ではなく，注意すれば今後更に発見が期待出来よう．尚，本種の他に琉球列島からは *Borbo cinnara* WALLACE，及びチャバネセセリ近似の *Pelopidas agna* MOORE も産する事が判っているので，併せて日本の南部諸島から発見の可能性があり，この地方では小型のセセリチョウには特に注意をしてみる価値があるように思う.

Summary

A Hesperiid butterfly which is little known to the fauna of Japan was newly collected at Amami-Oshima, Amami Group, the southernmost archipelago of Japan, by Mr. KAIYA KUBO as follows:

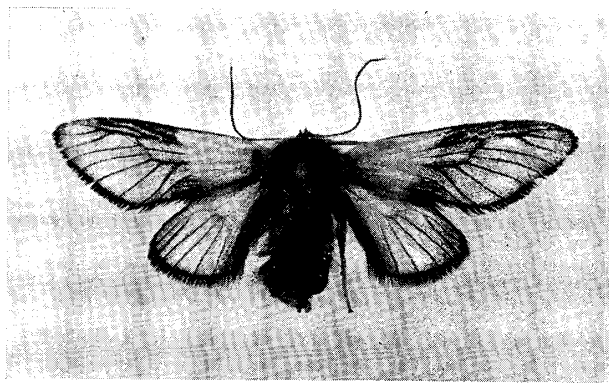
Parnara naso bada MOORE, 1878 1♂, Nase, Amami-Oshima, Japan, 22. vii. 1957.

This is the first record of the species from Japan excluding the Loochoos, except one female specimen from "Japan" in the British Museum recorded by EVANS in 1949, the data of which is rather dubious. This is also the northernmost record of the species within its wide distribution from Africa to Australia.

美くしい蓑薄翅の一種，キンケミノウスバ（新称）に就いて

中　村　正　直[1)]

The record of *Pseudopsyche endoxantha* PÜNGELER (Zygaenidae) from Japan

By MASANAO NAKAMURA

従来，我が国では，Phaudinae ミノウスバ亜科に属する蛾は，晩秋から初冬にかけて現われる *Pryeria sinica* MOORE ミノウスバ唯1種がしられているに過ぎなかった．しかしこの亜科のマダラガは対岸，シベリアから中国を経て東南アジア一帯にいくつかの種類が分布しており，しかもこれらのなかでは晩春より初夏にわたって出現する種類が圧倒的に多いのである．私は予て日本にも，この様な夏に現われるミノウスバが産するのではないかと考えていたが，たまたま昭和27年の夏に京都に出て，竹内吉蔵博士の所蔵標本を拝

1)　大分県佐伯市東浜　興国人絹パルプ株式会社研究課